

第3回長野県天文愛好者連絡会

◆分科会 C/南信・木曾 15名
 日時:2019/11/9 15:25~16:20
 場所:塩尻総合文化センター

司会:青木 勉さん(木曾観測所)

●自己紹介(非公開、記録のみ):
 興味あるテーマに触れながら自己紹介

内容
木曾観測所。昨年までは三鷹、その前は群馬天文台。 テーマ:都心でも楽しめる観望会
名古屋在住。 会社内の同好会、安八の科学館、奥三河のソムリエ講座手伝い。 テーマ:浪合での観望会で人が足りないという話を聞いたので人材育成
飯田美術博物館 飯田のお月見同好会も高齢化。このため「飯田天文ネットワーク」を立ち上げ。今は ML での 情報交換、定期的な勉強会を行う予定。 テーマ:高齢化/人材育成
諏訪天文同好会、オリオン同好会？ 高齢化で活動低下。諏訪の天文文化を伝える必要があれば連絡会に協力していきたい。 テーマ:天文文化、高齢化
名古屋で活動。名古屋の街中で星とホテルを見るイベントなどを実施(3等星、自分は4等星 まで見える)。 興味のない人に興味を持ってもらう工夫を話し合いたい。 テーマ:街中での観望会
木曾星の会。自宅で近所向けに観望会を開催。ゲリラ観望会を計画したい。 テーマ:街中での観望会
駒ヶ根星空の会、東亜天文学会 千畳敷ホテルで外部の星空案内。駒ヶ根市(駒ヶ根観光協会)独自の星空案内人養成講座 (6回/年)を企画運営して千畳敷ホテルの星空ガイドを実現。受講生で駒ヶ根星空の会を発 足。星空ガイド養成講座は、6回の講座では無理がある。 テーマ:人材育成
木曾観測所。その前は京都。 京都では毎週土曜日に観望会を開催。訪問人数が多かった。 木曾でも開催できると良い。 テーマ:観望会などの機会を増やす
木曾観測所。観測所での観望会。 テーマ:観望会などの機会を増やす
木曾観測所。複数のテーマに関連するが「情報発信」に興味がある。 内外の人に知ってもらうために上手に発信する必要がある。 若い人も星に興味を持つ(他の情報が多いので伝えることが重要)
木曾星の会、塩尻星の会、富山県天文学会。 観望会が流れ作業、人を捌くだけになりやすい。スキルアップできない。 テーマ:人材育成
原村星の降る里同好会。自然文化園が拠点。原村星まつり。

<p>人材不足。諏訪理科大の学生ボランティアがいるが、学生なので定着しない。他のメンバーは高齢化。 近隣ホテルのお客さんが観望会に来るが、短時間、少ないスタッフ人数で対応しきれない。 テーマ:高齢化、人材育成</p>
<p>木曾観測所。 観望会で上手に案内することが難しい。 星空継続観測で木曾が暗いことは証明。 星を見る機会を増やす、人が寄ってくる工夫。 テーマ:機会を増やす、人材育成</p>
<p>塩尻星の会。市民向け観望会。 情報発信に興味あり。 テーマ:機会を増やす</p>
<p>木曾観測所。司会。</p>

●テーマ選定(記録用)

「機会を増やす、効果的に発信する」

<p>富山駅前でゲリラ観望会。1-2時間で数百人。人が集まるところで開催すると効果がある。 名古屋の公園で実施したことがある。少し人が並ぶと集まってくる。無料と伝えると増える。 参加しやすい環境が必要。</p>
<p>周りが明るくても楽しめる(月、惑星)</p>
<p>岐阜駅前。興味のなさそうな若者も見てくれて感動してくれた。 サービスエリアでの観望会。周囲は明るい人が寄ってきてくれる。</p>
<p>人が多い場所だとスタッフが必要。 普段やらない場所でも効果ある。ナイトズーだと通常の観望会とは客層が違う。星を見たことがきっかけでプラネタリウムに来てくれることがある。</p>
<p>安全対策はどうしているか。</p>
<p>富山の場合は7人くらい。大人が多く明るい場所だったので周囲の注意のみで問題なかった。</p>
<p>少人数で実施。望遠鏡を操作してもらったりもするが問題ない。</p>
<p>保険に入った方が良いか不特定多数なので、周りのみ気を付ける。 危険なのは望遠鏡から離れること。</p>
<p>雨でも曇りでも望遠鏡を出す。覗いていると寄ってくる。</p>
<p>長野県は公民館活動が盛んなので公民館を通じて観望会を開催。</p>
<p>個人で開催したときも保険に入った。参加者の名前だけで入れる(名前は後からでもOK)。 暗い場所で躓くことがあるので。</p>
<p>星を見せる屋台、投げ銭いただく(お賽銭)などのイベントも考えたことがある。</p>
<p>天文普及研究会では、無料でなく有料で観望会を実施する話をしようという動きもある。 感動分のお金をいただく。</p>
<p>星関連のワークショップで有料にしたことがある。</p>
<p>駒ヶ根ではホテルなどに呼ばれるか。</p>
<p>ホテル千畳敷の宿泊プランで星空案内を実施。 実費、謝金はある。</p>
<p>機材貸し出しがあれば観望会をできるところはあるか？ 使わなくなった大きい望遠鏡を有効活用してくれないか、との問い合わせあり。 もったいないが、手入れされていないので、すぐ使えない。</p>

たいてい、自前を持っているので必要ない。

「人材不足」

安八などで人手が足りない。近くのソムリエさんなどと交流会を開催し、相互手伝いを目指す。

連絡会はその目的もある。

飯田、下伊那の人はあまり参加していない。→「飯田天文ネットワーク」立ち上げ、連絡会、星空ガイドにつなげたい。

「高齢化、若い人を増やしたい」

ゆるキャラ。アルクマを活かせないか。

若い人はどの範囲か？学生も？

案内人ができる程度の年齢。

富山では富山大学の同好会が含まれる。

木曾にも学校があつて取り込みたいが。

積極的な人はプロを目指す。ボランティアは中々いない。

20代だとボランティアはなじまない。30-40代をターゲットにする方が良いのでは？

昔は大学生が多かったが、今はリタイヤ組が多い。

シニアが多いと若い人が入りにくい。

星空に親しんでいる若い人が少ない。大学の同好会でも星座から覚えるレベル。

長野の人は星を見ない。気づきを与えることができれば。

スポーツと同じ(雪があってもスキーをしない)

娯楽が多いので星に向かない。星じゃなくても良い。

星空ガイド。講座で学んだ人に限定するとすそ野が広がらない。案内人にも個性が必要。色んな人が個性を発揮して周りに広めると良い。

木曾星の里つくり協議会。

宿泊施設などを対象に簡単な星空案内ができるようにする講座を開催。

地元の若い人にも受けは良い。

ホテル千畳敷でも若いスタッフが育っている。

スポーツは強いと盛り上がる。有名人が進めることで人が集まるのでは。